

## とっておきの植物画 IV

### ．．．．身近な植物．．．．

小豆むつ子（植物画家・ひとはく地域研究員）

#### はじめに

植物画（ボタニカルアート）は、植物の姿を何の誇張も交えずに正確・細密に描き表しながら、しかも鑑賞に堪えうる芸術性をもった絵画である。

今回は身近なカワラナデシコ・ネムノキ・ノウゼンカズラを題材に、観察画として教材を作成した。カワラナデシコとネムノキについては2007年の共生のひろばで発表を行ったが、昨年改めて観察を行い、絵を加筆した。

#### 材料と方法

今回観察に用いたのは、カワラナデシコ・ネムノキ・ノウゼンカズラの3種である。

以下の通りに観察と絵画の制作を進めた。

1. 植物について、図鑑でよく調べる。
2. 植物を採集し、さく葉標本を作る。当面の観察用に生植物も採集する。
3. 生育環境や生育状態を記録する。
4. 肉眼、ルーペ、実体顕微鏡で観察する。
5. 花などは解剖して観察し各器官の大きさを物差しやノギスで測定する
6. 鉛筆で描き色鉛筆（カワラナデシコ・ネムノキ）と水彩絵の具（ノウゼンカズラ）で彩色する。

#### 結果

観察した結果をふまえ、これまで共生のひろばで発表した観察画と同様の様式で教材化した。カワラナデシコ（図1）・・・両性個体で開花すぐは雄蕊が伸び雄性期状態にあるが、のちに雌蕊が伸びて雌性期状態へと変化してゆく。爪部の翼を加筆した。

ネムノキ（図2）・・・高さ10m以上に達する落葉高木。葉柄の基部に大型の蜜腺がある。ピンク色のハケのようなものは多数の雄蕊で、花には頂生花と側生花の2種類がある。葉柄の蜜腺を加筆した。

ノウゼンカズラ（図3）・・・長さ10mくらいに伸びるつる性の木本で無毛の幹をもち、羽状複葉は7または9個の卵形の小葉からなる。7月以後新梢の先に円錐花序をつけ、雄蕊の一個は退化している。

#### 謝辞

ひとはくの高野温子先生には、標本の作成からまとめ方まで多岐にわたってご指導を賜った。また、レッドビーンズの小豆佳代さんにはコンピューターを用いた作業について大変お世話になった。この場を借りて厚く御礼申し上げる。

# カワラナデシコ(観察)

双子葉植物



## ■カワラナデシコ ナデシコ科 ナデシコ属の多年草

学名: *Dianthus superbus* L. var. *longicalycinus* (Maxim.) Williams

属名は Dios (ギリシャ神話の神ジュピター) + anthos (花) の意。

種小名は気高い・華美な、の意。

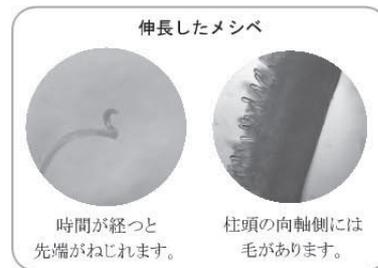
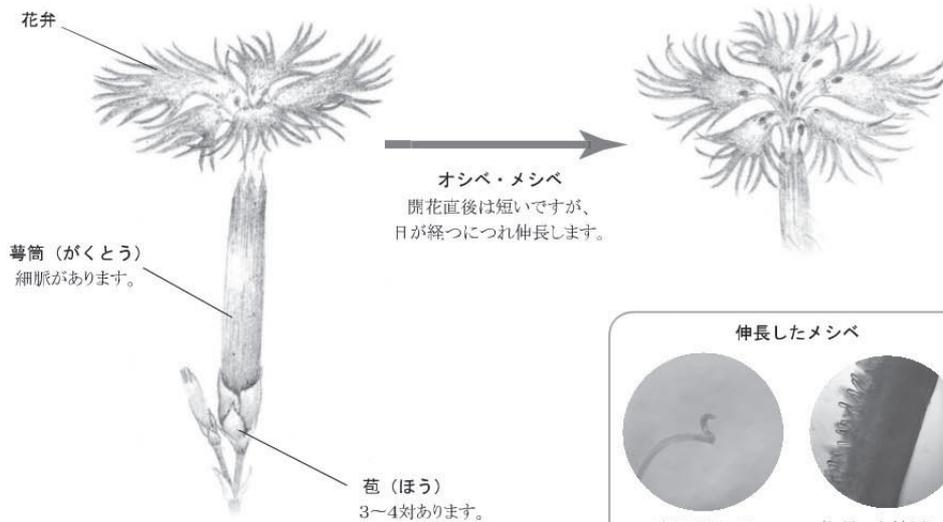
低地や日当たりのよい草原や河原などに生えます。花期: 7~10月。

思わず撫でてみたくなる程  
かわいい花です。

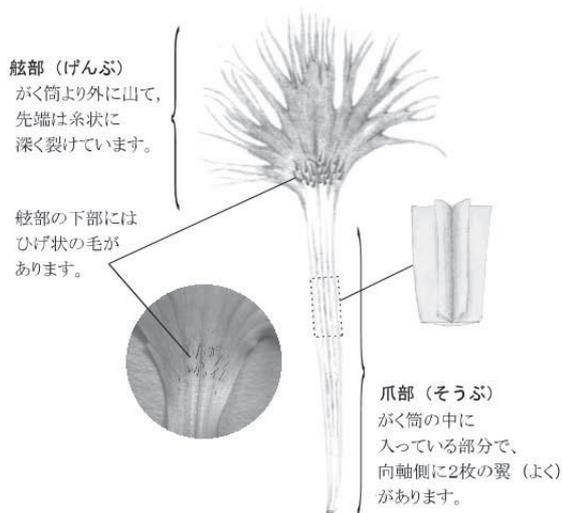
花のつくり

- がく……円筒状で先端は5裂
- 花弁……5個
- 雄蕊（オシベ）……10個
- 雌蕊（メシベ）……1個（花柱は2個）

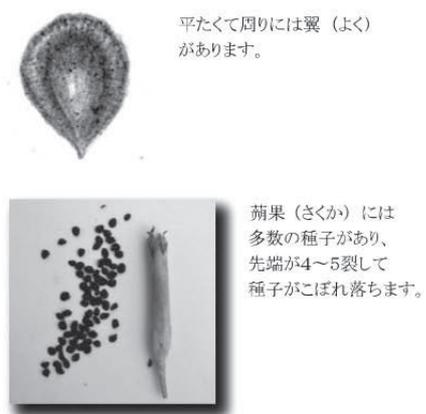
花



花弁  
長さ5.5〜6 cm程度。



種子



# ネムノキ (観察)

双子葉植物



## ■ネムノキ マメ科 ネムノキ属の落葉高木

学名: *Albizia julibrissin* Durazz.

属名は、ヨーロッパにこの属を紹介したイタリア人の名に由来。

林縁、原野などの日当たりのよい湿地によく生育します。

暗くなると葉は閉じて垂れ下がる（就眠運動と言います）ので、木が眠っているように見えるところからネムノキと名づけられました。花期：7～8月。

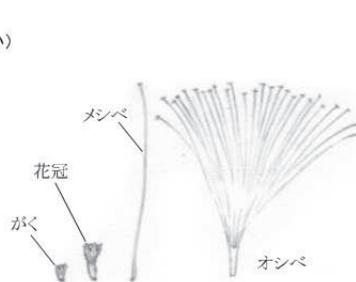


ピンク色の糸状の部分は  
花びらではなく雄蕊です。

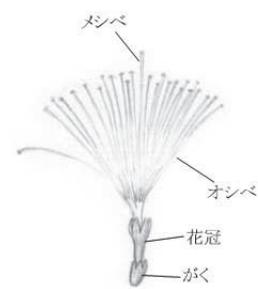
花のつくり

- がく……………1個 先端は5裂
- 花冠……………1個 先端は5裂
- 雄蕊 (オシベ) ……約 22～ 26 個
- 雌蕊 (メシベ) ……1個

**花** 側生花と頂生花の2種類あります。



**側生花**  
オシベはほぼ基部（花冠の先端位）から糸状に分かれています。  
(長さ- がく:約 0.25cm, 花冠:約 0.8cm, オシベ:約 3.8cm, メシベ:約 4.0cm)

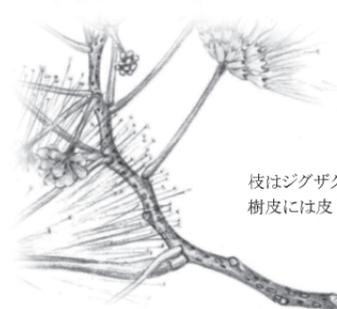


**頂生花**  
側生花より、がくも花冠も長く、オシベは中ほどから糸状に分かれています。  
(長さ- がく:約 0.48cm, 花冠:約 1.32cm, オシベ:約 3.95cm, メシベ:約 4.25cm)

ワンポイントレッスン

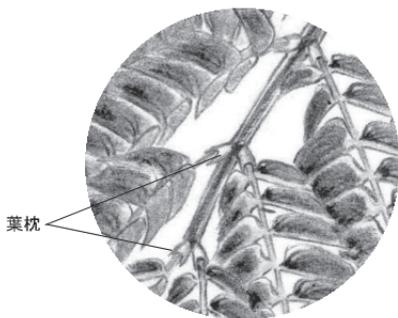
メシベはオシベより6～7mm程度長く突き出ているので、よく観察して描きます。

枝



枝はジグザクに屈曲し、樹皮には皮目が多数あります。

**葉** 2回偶数羽状複葉



葉枕の働きで就眠運動がおこります。

果実 (豆果実)

果実は背側が裂開して  
種子がこぼれ落ちます。



ワンポイント観察

羽片や小葉のつけ根の葉枕（ようちん）の部分は、ふくらんでいます。

# ノウゼンカズラ (観察)

双子葉植物



■ノウゼンカズラ ノウゼンカズラ科、ノウゼンカズラ属のつる性落葉樹

学名: *Campsis grandiflora* (Thunb.) K.Schum.

属名は、雄しべが弓形をしていることから。種小名は大きい花の意。

中国原産で、真夏の太陽のもとで次々に花を咲かせます。日本には平安時代前期の九世紀、すでに渡来していました。

2000年8月 自宅 庭

# ノウゼンカズラは 真夏の太陽が大好きです。

## 花のつくり

- ガク筒……5裂
- 花冠……5裂
- 雄しべ……4本(長・短2本ずつ)
- 雌しべ……1本(柱頭2裂)

### ■柱頭が開いている状態



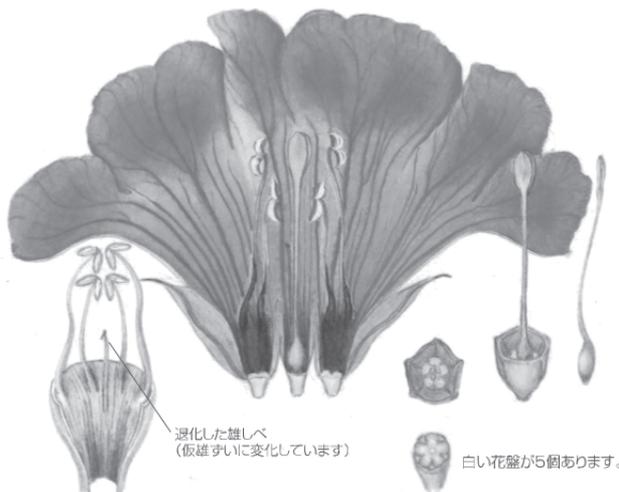
蕾のときは  
花冠の先が  
左巻きに重なって  
います。

花冠は、筒形で  
がく筒には  
稜があります。

### ワンポイント観察

柱頭はへら型で2片に裂け、上下に開いていますが  
花粉をつけた昆虫がふれると  
しっかりと閉じて、花粉を挟んでしまうようです。

### ■柱頭が閉じている状態



花冠が  
落ちたところ  
がく筒は鐘形で5裂しています。

### ワンポイントレッスン

左右相象の花冠で、  
上下のある花は下部を切開します。

気根を出して、他のものからみつぎながら成長します。